

墨俣小学校における子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰について

1 概要

文部科学省では、毎年4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、団体（個人）を表彰（文部科学大臣表彰）しており、この度、大垣市立墨俣小学校が令和4年度子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰を受賞したものの。

2 受賞理由（主な活動内容）

- ・墨俣小学校と大垣市立図書館、墨俣図書館の連携により、小学校で「図書館まつり」を共同開催しているほか、共通の読書手帳の作成、市立図書館の利用カードに学校図書館の貸出用バーコードを添付することによるカードの共通化など、児童が図書館と読書に親しみやすい環境づくりを進めている。
- ・図書委員が選んだ図書を「ミニ図書館」として各教室に設置し、本に触れる機会を設けている。
- ・学校図書館前には、新聞の読み方や切り抜きの掲示、新聞を活用した学習成果物の展示もあり、これらを廊下でも読めるよう掲示の位置も工夫しているほか、館内にはお薦め本や新刊のコーナーが設置されており、図書室に来るのが楽しくなるようなレイアウトとしている。

3 参考

子供の読書活動優秀実践校の表彰は、平成14年度から毎年実施され、今回で21回目となる。県内及び全国の文部科学大臣表彰の受賞の状況は、次のとおりである。

- ・県内 【学 校】大垣市立墨俣小学校、岐阜市立加納西小学校、
県立飛騨高山高等学校
【図書館】飛騨市図書館（飛騨市）
【団体（個人）】あぶくたったの会（中津川市）
- ・全国 小学校：66校、中学校27校、高等学校25校、特別支援学校6校
中等教育学校等：4校
図書館：46館
団体：42団体、個人：4名